

# 九州のなかま

2009 - 4

秋闘情報: NO. 4

発行日 : 2009年9月28日(月)

発行者 : 生協労連 九州地連

## 生協労連パート部会第15回総会

### 「憲法」をくらしに活かそう 「均等待遇」の確かな一歩をつかもう

9月26日(土)~27日(日)、東京・日本青年会館に全国から170名(九州からは役員を含めて23名)のパートのなかまが集い、2日間にわたって学習、交流をしました。第15回の節目となる今総会は、第1回総会を開催した「日本青年会館」において開催され、全ての議案が参加者全員の大きな拍手で確認、新役員も全員承認されました。

2009年度方針は、憲法を活かし、核兵器と戦争のない平和な社会、人間らしくらせる社会、働くルールを確立し、差別をなくし、安心して働き続けられる職場を、地域のなかまとともに、人権が尊重され働きやすさが実感でき、生協で働いてよかった、と言える職場、安心安全は「食と農」、持続可能な地球環境、なかまを増やそう、たよりになる労組を、「つくろう」を活動の基調に掲げました。

2009年度役員体制では、九州地連からは福丸さん(かごしま)が副部会長に、下地さん(おきなわ)が幹事として承認されました。なお、この間生協労連パート部会の先頭にたって、運動や活動をすすめてこられた布間さん、橋本さんが退職にともない退任されました。本当に長いあいだ、お疲れさまでした。今後のお二人の第2ステージでのご活躍を期待しています。



挨拶する布間部会長



発言する永吉さん



左: 福丸さん  
右: 下地さん



講師の安齋先生

総会に先立ち、立命館大学国際平和ミュージアム・名誉館長の安齋郁郎氏による「核兵器廃絶の展望と日本の平和」と題した学習講演が行われました。午後の時間帯での講演、ともすれば睡魔に襲われそうになる時間帯でしたが、わかりやすく歯切れのよい口調で、時には「笑い」を交えながら、しっかりと学習することができました。特筆すべきは、「安齋郁郎の安全保障政策」と題する10項目の政策提起?でした。非同盟・中立、平和外交基本法、不戦・平和・国際主義、武器輸出禁止、自衛隊の海上保安隊と災害救助隊への再編、平和国際貢献の飛躍的發展、平和研究の国際機関の誘致、初等・中等・高等教育での平和教育の多彩な展開、官民共同の国際交流の發展、「平和省」の設置...日本の安全をアメリカの核兵器に依存する「核の傘政策」ではなく、今こそ核兵器のない安全な世界を実現させるためにも、核兵器全面禁止・廃絶条約をつくり、国際機関が監視し、後戻りを許さない世論をつくりあげること...誰もが共感、納得できる政策です。

総会宣言では、私たちの運動の成果が実を結ぶよう、更なる運動の輪を広げ、時給1000円以上、貧困と格差の根絶、働くルールの確立、核兵器の廃絶、憲法9条を守ろう、をスローガンにみんなで協力し、知恵を出し合い、さらに大きく運動の輪を広げていくことを確認しました。

お願い: 2009年秋闘関連の取組み 他の情報を地連まで FAX: 092-947-9193